

## ◆ 高機能性ウメ品種「露茜」の需要拡大を目指した安定生産技術並びに加工技術の開発 (2013～2015年度)

共同研究機関：和歌山県果樹試験場うめ研究所（中核機関）、徳島県立農林水産総合技術支援センター、宮崎県総合農業試験場、和歌山県工業技術センター、（独）農研機構 果樹研究所、学校法人近畿大学生物理工学部、中野BC（株）、徳島県東部農林水産局（吉野川）、宮崎県児湯農林振興局、みなべいなみ農業協同組合、（株）南部美人

研究概要：（独）農研機構果樹研究所が育成したウメ品種「露茜」は、これまでのウメにない赤色色素や機能性成分が豊富なことから新商材として注目されているが、新品種であるため生産技術や加工技術の開発が進んでいない。

そこで、「露茜」の生産性向上と需要拡大に向け、果実の安定供給技術と高機能性等の付加価値が高い新規のウメ加工品開発を一体的に行い、消費拡大による農家所得の向上とウメ関連製品の市場拡大に寄与する。



### 課題提案者の感想： 産学官連携コーディネーターの支援に対して



和歌山県果樹試験場  
うめ研究所  
竹中 正好 主任研究員

事業採択に至るまでの2年間に亘り、近畿アグリハイテクのコーディネーターには提案書からプレゼン作成まで親身なご支援を頂きました。特に一年目の申請時には、一から研究内容、研究体制、成果を組み立てる必要があり、相当思案する毎日でした。

そのような中、的確なアドバイスにより方向性を定めて頂き、自信を持って提案書作成に取り組むことができました。二年目には審査項目である成果の実用性や研究分担、施策との整合性等、審査員の視点にたったきめ細かなアドバイスを頂き、格段にブラッシュアップすることができ採択に至りました。改めて感謝申し上げます。